

平成 29 年 3 月 1 日
日本ガス株式会社

平成 29 年 4 月 1 日以降のガス料金メニューについて ～ガス小売り全面自由化を契機としたガス料金値下げと新料金メニュー追加～

日本ガス株式会社（本社 鹿児島市中央町 8 番地 2 代表取締役社長 津曲 貞利）は、平成 29 年 4 月 1 日からの都市ガス小売全面自由化を契機とし、ガス料金の値下げおよび新しいガス料金メニューを追加致します。

今回の料金値下げにより、一般料金をご家庭で当社の平均的にガスをお使いのお客さまは約 2.4%（当社お客さま平均 19 m³/月ご使用の場合）、最大で 4.7%（25 m³/月ご使用の場合）、一般料金全体で約 1.5%の値下げとなります。

ガス料金のオプションメニューとして平成 28 年度から提供しております日本ガスでんきと当社の都市ガスをご家庭でお使いのお客さま向けに「ガス・電気セット割」を追加いたしました。これにより、一般料金のお客さまは今回の値下げと合わせて当社の平均的にガスをお使いのお客さまで約 3.6%（当社お客さま平均 19 m³/月ご使用の場合）、最大で約 5.9%（25 m³/月ご使用の場合）のメリットがあります。

さらにガス暖房器具をお使いのお客さま向けに「家庭用暖房料金」を新たにご用意いたしました。月間の使用量が 30 m³を超えるお客さまは一般料金よりも割安でガスをご使用することができます。

また、日本ガスグループのポイント制度であるエネちょポイントの対象に都市ガスを追加し、ますますポイントの貯まるサービスになります。（ガス料金 200 円〈税込〉につき 1 ポイント）

さて、エネルギー業界を取り巻く環境は、大きな変化の時期を迎えています。昨年 4 月には電力小売が全面自由化されましたが、いよいよ本年 4 月からはガス小売も全面自由化がスタートし、お客さまがエネルギーを自由に選択できる時代が訪れようとしています。このような環境変化を契機とし、当社は、ガス・電気・暮らしのサービスメニュー多様化を進めることで、お客さまの快適な暮らしづくりのお手伝いをしながら、地域社会と共に発展していく「暮らしサポート企業」を目指しています。

当社ではこれまで長年培ってきた信頼を糧に、これからもより良いサービスを提供し続けて参ります。

記

■ガス料金メニューの概要

1. 4/1以降のガス料金概要

【料金メニュー】

用途	3月31日まで	4月1日以降	備考
家庭用/業務用	一般料金	一般料金	料金値下げ
家庭用	-	家庭用暖房料金	新規設定
	家庭用コージェネレーションシステム契約	エネファーム料金	名称変更/料金改定
	家庭用給湯・温水システム契約	-	4/1以降新規申し込み 停止※1
	家庭用セントラル空調システム契約	-	
業務用	各種選択約款（以下の変更のみ）		

※1：現在ご契約中のお客さまは引き続き契約可

≪全料金メニューに共通する変更点≫

- ① ガス料金表の単価が小数点第4位までから小数点第2位までに変更となります
- ② 原料価格の変動を料金に適切に反映させるため、「単位料金の調整」における「平均原料価格」の上限に関する規定を削除いたします
- ③ 今後のガス料金は各ガス料金メニューに共通して適用される内容を定めた「基本約款」と各ガス料金メニューの適用条件や料金等を定めた「個別約款」にて供給条件を定めます

【オプション割引】4/1以降新規設定

対象用途	名称
家庭用のみ	ガス・電気セット割

2. 一般料金

一般料金の値下げ改定をいたします。これにより月間の使用量が15 m³を超えるお客さまはガス料金が値下げとなり、一般料金全体で約1.5%の値下げとなります。

【今回の料金改定による値下げ額の例 ※消費税・2017/2原料費調整額含む】

	月間 使用量	ガス料金		値下げ額	値下げ率
		改定前	改定後		
平均使用量世帯	19 m ³	5,308 円	5,180 円	-128 円	-2.4%
最大値下げ率世帯	25 m ³	6,751 円	6,431 円	-320 円	-4.7%

3. ガス・電気セット割（新設）

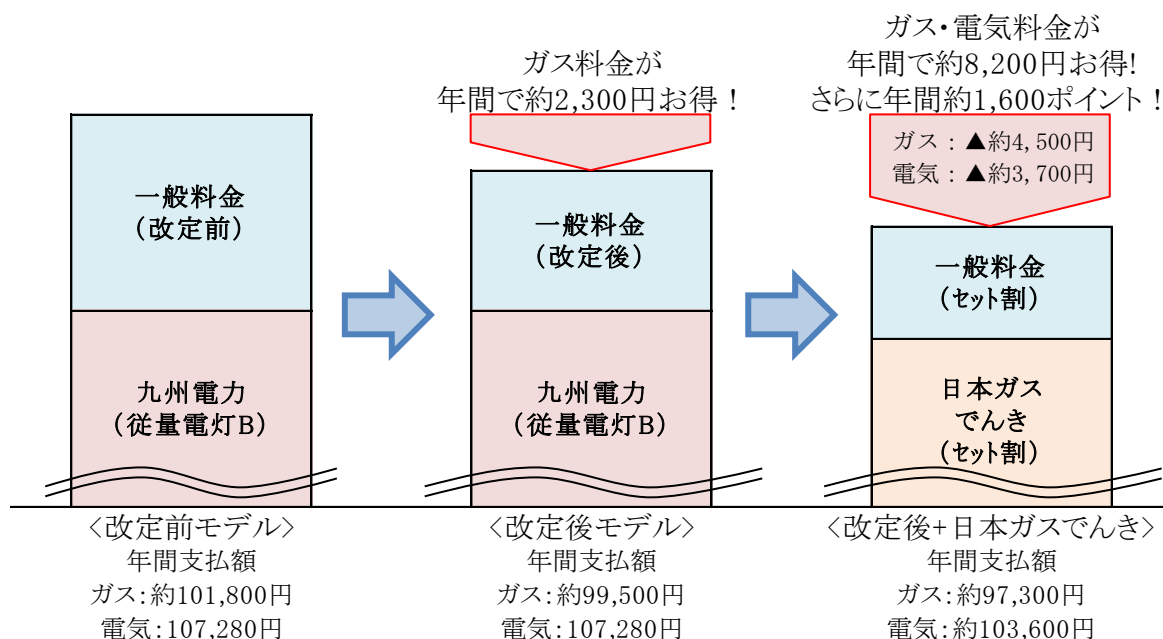
ご家庭でガスをご使用のお客さまで当社のでんきをお使いいただくと「ガス・電気セット割」が適用になります。各料金の従量料金（原料費調整額を含まない）に割引率を適用し、さらにお得になります。

《適用条件》

- 1) 日本ガスのガスと電気を同住所でご使用のお客さま
- 2) お支払方法が口座振替またはクレジットカード払いのお客さま
- 3) ガス料金と電気料金を一緒にお支払いただけるお客さま
- 4) ご家庭でガスをご使用の場合で一般料金、家庭用暖房料金、エネファーム料金をご契約のお客さま

《モデルケース（4人家族をイメージ）でのお客さまメリット》

〈試算条件〉 ガス使用量：420 m³/年、電気：40A、4,800kWh/年（2017年2月時点比較）



※上記比較は消費税相当額、2017年2月のガスは原料費調整額、電気は燃料費調整額を含みます。

九州電力従量電灯Bの料金（2017年2月時点）との比較です。なお、再生可能エネルギー発電促進割賦金は含まれておりません。口座振替割引54円/月は含みません。（電気のご使用量によっては割高になる場合もあります）ガス・電気のご使用状況によっては、同じ世帯人数や住宅形態でも、料金メリットが大きく変動します。セット割引については、ガス料金および電気料金に対してそれぞれのガス・電気セット割引を適用しています。ポイント数には、ボーナスポイント（50ポイント）を含みます。（※エネちょポイントへのご入会が必要です）

News release

4. 家庭用暖房料金（新設）

ガス暖房をお使いのお客さま向けにお得な「家庭用暖房料金」を新設いたします。

《適用条件》

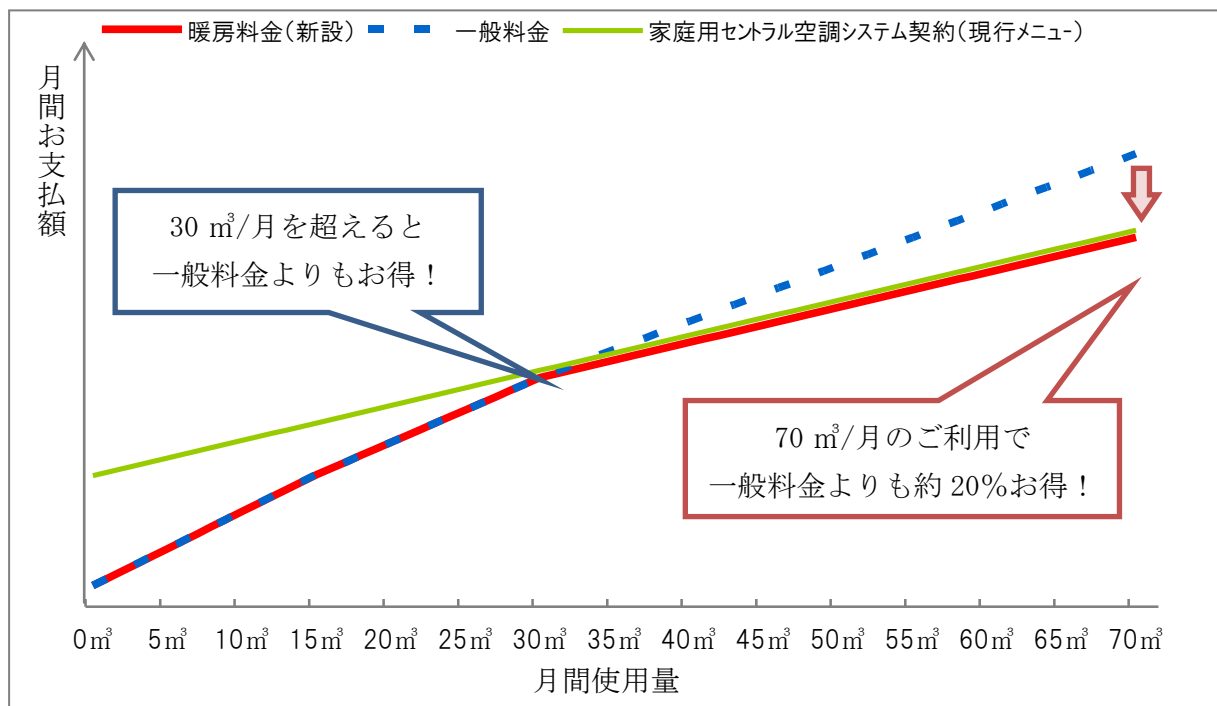
ご家庭でガスをお使いのお客さまでガス温水暖房（ガス温水式床暖房、ガス温水式浴室暖房乾燥機等）やガス燃焼暖房（ガスファンヒーター、ガストーブ等）のガスを熱源とした暖房器具をお使いの場合（※適用するにはお客さまからの新規でのお申込みが必要です）

《お客さまメリット》

30 m³までは一般料金と同額となりますが、30 m³を超えると一般料金よりもお得にお使いいただけます。

※従来のガス温水暖房料金メニューである家庭用給湯・温水システム契約および家庭用セントラル空調システム契約は月間でのご使用量がそれぞれ30 m³、31 m³以下の場合には一般料金よりも割高になっていましたが、今回、新設した家庭用暖房料金では月間のご使用量が30 m³以下でも一般料金よりも割高になることはありません。

【家庭用暖房料金のイメージ】



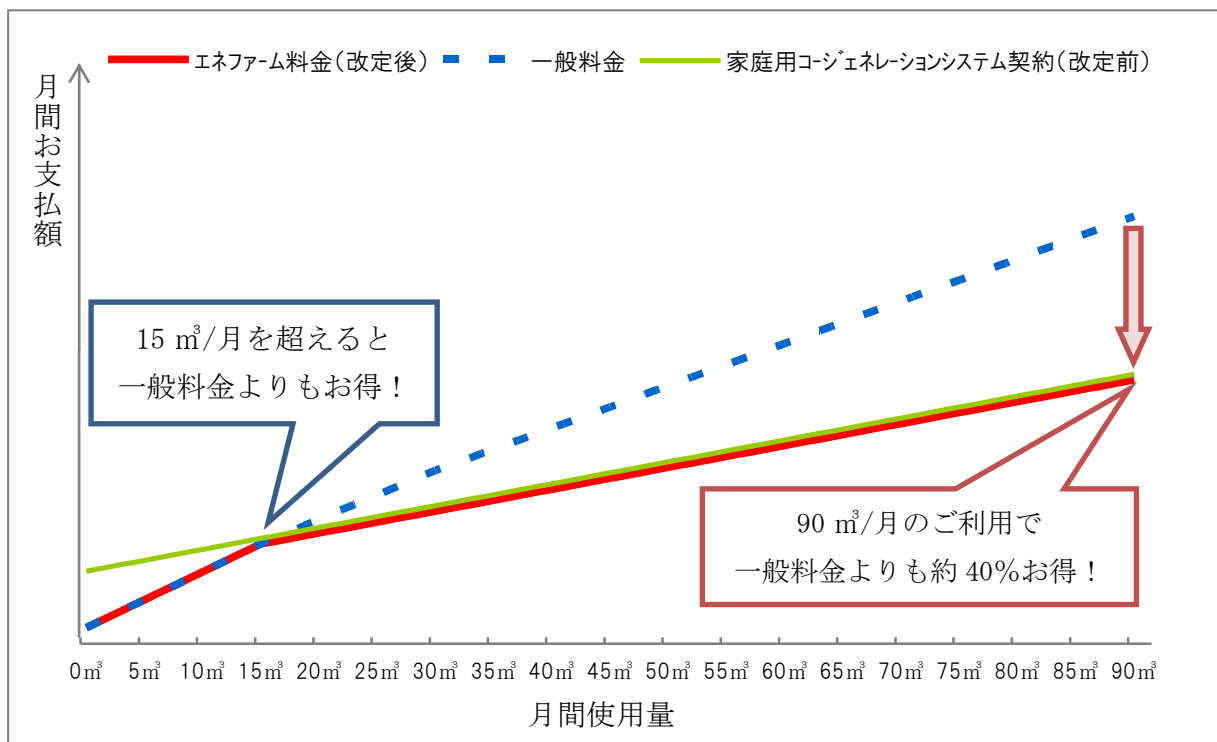
News release

5. エネファーム料金 (名称変更、料金改定)

今までの家庭用コージェネレーションシステム契約の名称を変更し、合わせて料金改定を行います。(適用条件に変更はないため、家庭用コージェネレーションシステム契約をご契約中のお客さまは特段のお手続きは必要なく改定後の料金メニューへ自動移行となります)

※改定前の料金メニューは月間でのご使用量が 16 m³以下の場合是一般料金よりも割高になっていましたが、今回の改定では月間のご使用量が 15 m³以下でも一般料金よりも割高になることはありません。

【エネファーム料金のイメージ】



News release

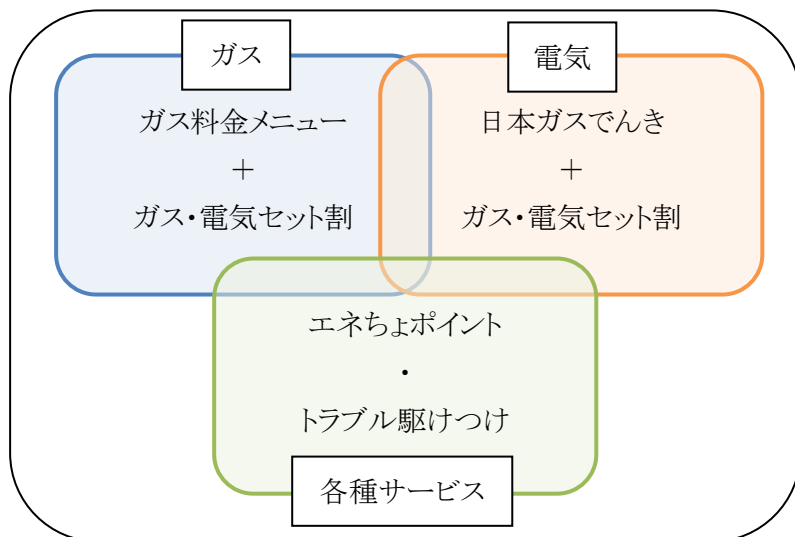


6. 平成 29 年度 4 月 1 日以降のガス料金表（単位：円、消費税込、原料費調整額含まず）

料金メニュー 名称	使用量種別		基本料金 (1ヶ月あたり)	基準単位料金 (m ³ あたり)	ガス・電気セット割
					割引率
一般料金	A	0 m ³ ～15 m ³ まで	739.80	258.34	0.5%
	B	15 m ³ を超え 30 m ³ まで	1,219.32	226.37	1.5%
	C	30 m ³ を超え 150 m ³ まで	2,139.48	195.70	3.0%
	D	150 m ³ を超える場合	6,734.88	165.07	4.0%
家庭用 暖房料金	A	0 m ³ ～15 m ³ まで	739.80	258.34	0.5%
	B	15 m ³ を超え 30 m ³ まで	1,219.32	226.37	1.5%
	C	30 m ³ を超える場合	4,334.04	122.56	3.0%
エネファーム料金	A	0 m ³ ～15 m ³ まで	739.80	258.34	0.5%
	B	15 m ³ を超える場合	3096.36	101.20	1.5%
家庭用給湯 温水システム契約※			3828.60	146.09	
家庭用セントラル 空調システム契約※			4584.60	122.56	

※新規契約申込みは 4/1 以降停止のため、上表の料金は現在契約中のお客さまのみ対象です。

7. 日本ガスがお届けするサービスイメージ



■本件に関するお問合せ

営業企画グループ 販売推進チーム TEL 099-250-5127

以上